

# 紅葉 de かえでの森 ~友情の杜で紅葉を楽しもう!~

皆さんは、姉妹都市交流会館の隣にある紅葉の名所「友情の杜」をご存じですか。美しく色付いたカエデやイチヨウを眺めたり、ドングリやギンナンを拾ったりしながら、散策や写真撮影を楽しんでみませんか。

期間中、カメラやスマートフォンで、友情の杜の写真(風景や人物など)を撮影し、姉妹都市交流会館窓口で提示してくれた方に、プレゼントを差し上げます(なくなり次第終了)。

インスタ映え間違いなし!  
素敵な写真をSNSでシェアしちゃおう!



**期間**▼11月上旬～中旬(日曜日を除く)※紅葉の進み具合によって前後します。

**時間**▼午前9時～午後3時

**場所**▼友情の杜(姉妹都市交流会館南側)

**問い合わせ**▼姉妹都市交流会館(東海3-6-7 役場西側 ☎282-0535(午前9時～午後5時))※詳細は、姉妹都市交流会館フェイスブック(<https://www.facebook.com/tokai.sch>)をご覧ください。



## お煤取り

ふるさと歴訪  
〜歴史を再発見〜



寺社にはそれぞれにおいて年中行事があり、祭事の定めに従い一年を送っています。村松山も同様で、春夏秋冬の季節に沿った各行事が執り行われます。

通常、年中行事というと広く一般に告知し、大勢の人々が参加するものですが、当山には告知していない私的な行事として「お煤取り」という祭事が、毎年3月25日の早朝に執行されます。

お煤取りとは、当山のご本尊であり奥之院に安置されている、秘仏大満虚空蔵菩薩像の煤を払う儀式です。

その模様は、僧侶は二手に分かれ、一方は本堂において護摩を修行します。この時に水瓶に入れられた酒を加持し、土器と呼ばれる平たい杯に注ぎ、参集者はこれを口に含み体を清めて出堂します。もう一方は、先に奥之院において、ご本尊が納められた厨子の前で修法を行い、本堂を出堂した僧侶たちを待ちます。住職以外の僧侶および参集者は、奥之院の前で口に覆いをして合流します。次に住職は皆がそろったところで「願文」を奏上し、これが終わってよいよ厨子の扉が開かれ、御身拭いとなります。大満虚空蔵菩薩像の御身を金紙・銀紙はたきで拭い、

村松山虚空蔵堂住職

原 淑行

「福・徳・智」の御利益をいただくのです。他方で、このお煤取りの祭事について、願文に次のように記されています。

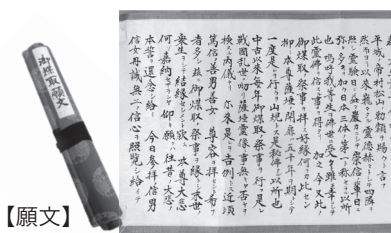
中古以来毎年御煤取りノ祭事ヲ行フ  
是レ戦国乱世ノ砌リ薩垂霊像ニ事  
無キヤ否ヤヲ検スル内儀ナリ

このように、お煤取りとは、ご本尊に不都合が生じていないかを検証するための大切な行事でもあります。

東日本大震災では、当山でも多大な被害がありました。この年は、ご本尊の無事が確認できたお煤取りの祭事の翌日から、震災後取り止めていた十三詣り等の護摩祈願が再開されました。



【本堂で清めを終え、奥之院へ向かう参集客】



【願文】